常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用1210
編集部1269

憩いの……
殿堂……
（女中入用）
旅館
翠月
平市新田町 電332

遠洋とも交信できる

小名浜無線局 無線短波認可さる

県では遠洋に出漁する漁船と直接連絡できるようにと去る三十年十月から小名浜無線局内に無線短波の新設を許可して欲しいと電波管理局に申請していたが十五日認可された旨の連絡があり、「これで世界の果てまでも連絡出来るようになつた」と関係者を喜ばしている。小名浜無線局はいままで超短波による通信しか認められずもつぱら近海にいる漁船との連絡に当つていたが、近海漁業の不振から漁船が大型化し遠くはインド洋までも出漁する漁船が多くなつたため陸上との連絡に不便をきたし、県では神奈川県三崎にある無線局と話をつけ夜間の数分間を利用させてもらつてかろうじて遠洋へ出漁している本県船と連絡をとつていたもの。今回認可された短波局は無線施設だけで五百八万円、出力五百KW、周波数四、八、十二、十六メガサイクルの送信機一台、シンリイダー型通信用受信機一台、三十米鉄塔二基、妨害波除去装置一式、およびガソリンエンジンによる五十サイクル三相交流自家発電装置を完備したもので三月末までには完成、四月一日から正式交信できるよう準備を進めている。

母子の福祉大会

千名が参加して開く

県未亡人会連絡協議会主催、石城地方未亡人会連絡協議会、平市社会福祉協議会など協賛の「第一回県母子福祉大会」は三月十六日午前九時から平市公会堂で県下の未亡人会員、社会福祉協議会関係者公私母子福祉事業関係者、市町村長など約千名が参集して開かれる研究協議題の主題は母子家庭を明るくするためにはどうすればよいかで細部議題は次の通り。

母子家庭を明るくするため母子家庭は何をすべきか▼未亡人の教養向上について▼新らしい母と子の関係▼児童の福祉向上について▼保健衛生について▼児童の就職について▼貯蓄推進▲生活改善▼母子家庭を明るくするため地域活動をいかにするか地域組織としての未亡人会の活動▼他団体との協調▼地域における人間関係▼母親クラブ、子供会等に関するもの▼未亡人会運営資金造成について▼母子家庭を明るくするためにどのような施策を必要とするか▼母子金制度について▼医療について▼母子就労対策について▼税に関するもの▼農地返還について

五千円寄附

平市高久、久保ノ作洞くつ調査のため来平した日本考古学協会委員長東京芸大教授藤亮策氏ら一行は平市教育委員会から贈られた五千円をそのまま石城史談会に寄贈した。

平養豚組合の役員會

平養豚組合役員会は二十五日午後一時から平市役所委員会室で開き、今後の方針について協議する。これは現在約三百名の組合員がいるが、先進都市などを視察したにもかかわらず草野（組合員八十名）高久（同五十名）赤井（同二十名）をのぞいてはその活動も不活発な状態にあるため運動方針を新たに樹てて各地方におとらぬ組合運動を起こそうというものである

川前分会が優勝

木炭品評会入賞決る

郡内一の木炭を決める「第五回石城木炭品評会」は県木炭協会石城支部、磐城林産場検査所共催で十八日から二日間にわたつて平市公会堂本館で行つたが、今年の出品木炭は全国的レベルまで向上した十六、七日審査を行つたが出品点六百八十二点のうち百九十八点が入選した。また木炭協会主催の分会対抗では川前分会が三年連続優勝、きよう十九日午後一時から公会堂でほう賞と優勝旗が贈られた。入賞者と功労者は次の通り。

「木炭」◇=優勝くぬぎ丸猪狩稔（川前）なら丸小石沢里由（三和）雑丸井戸川清則（小川）◇一等=河部範夫（三和）会津登（〃）松本吉三（川前）遠藤博（三和）菅野義雄（川前）松原誠（〃）架崎金之亟（同）水野清久（三和）芳賀サタ子（田人）柴崎保（川前）薬谷幸作（三和）根本昭（〃）柴崎貞江（〃）渡辺幸吉（川前）平子港一（遠野）◇二年=柳博隆（川前）猪狩辰吉（同）福田キチ（三和）草野一吉（同）三部徳久（川前）根本泰高（同）永山イネ（同）吉田一民（三和）新井智（遠野）大和田絹江（好間）渡辺喜蔵（川前）柴崎了一（川前）佐藤仁（同）松原酉治（同）鈴木喜八（三和）根本直作（同）松原正夫（川前）松本光明（同）片寄佐市（好間）佐[illegible]之助（川前）松原一（同）田久一馬（小川）田子公彦（三和）佐藤喜一（同）田子博（〃）鈴木直良（田人）佐藤捨次郎（遠野）佐藤守（田人）会原祐昌（川前）新妻幸一（好間）川津定夫（川前）薬谷久太（三和）長塩博（小川）田久一（〃）薬谷康次（三和）阿部磐城（三和）薬谷武男（〃）薬谷直喜（〃）松本吉一（〃）高橋信喜（〃）薬谷久三（〃）田久茂（小川）田久浩一（〃）中村敬助（〃）田久繁巽（〃）田久喜一（〃）薬谷亀太郎（三和）◇三等=根本清さんら百三十三名、「炭俵」①吉田卯之吉（常磐）②折笠利七（遠野）芳賀サタ子（田人）

滞貨の一掃へ

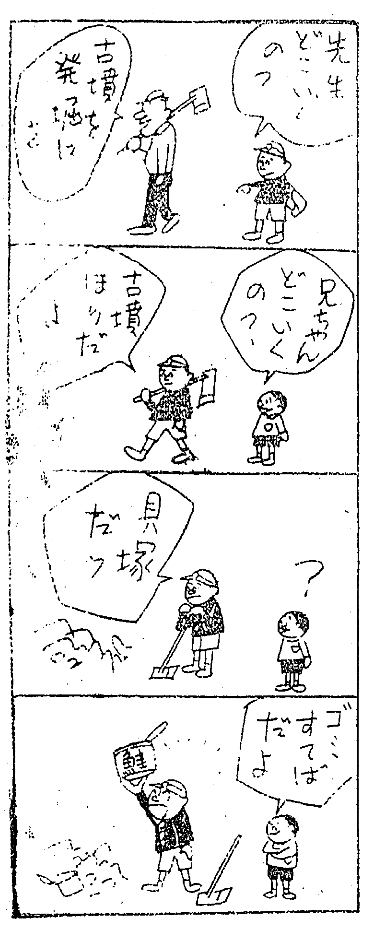
ピストン列車で送炭

常磐炭田の各炭砿は深刻な貨車事情に見舞われ、国鉄側の貨車増配も全く期待できないので東部石炭協会では十八日から平ー隅田川間一日往復のピストン列車を運行することになつた。二月の送炭目標は三十二万四千トンだつたが、十四日現在十六万五百七十五トンの実績でマイナス一千四百五十トン。このままの状態が月末までつづけば目標を三千トンも下回ることになる。また三月の送炭目標一日一万二千五百トン（月間三十八万七千五百トン）にたいして国鉄側は相変らず難色を示し、月間三十八万五千トンが限度だといつている。

こうした実情から十日現在の山元貯炭総量はざつと十一万四千二百トン、しかもこんごますます貯炭はふえる見通しで、四月から実施される国鉄運賃の値上げを目前にとうとうピストン列車の運行実施となつたもの。ピストン車は四十五両編成で午前六時三十分平を発ち内郷駅で二十両、湯本駅で二十五両をそれぞれ連結、隅田川駅着、十二時四十分、石炭を下して同駅を十七時三十分に発ち、平駅着は零時三十八分の予定となつている同協会はピストン列車の運行で月二万トン送炭を予定している

子供の世界

風太郎画


先生どこいくの？
古墳を発掘に
兄ちゃんどこいくの？
古墳ほりだよ
貝塚だッ
？
ゴミすてばだよ
鮭

浜通り健保

卓球大会

平社会保険出張所、県社会保険協会平支部主催の第三回政府管掌健康保険者浜通り軟式卓球大会は三月三日午前九時から磐高体育館で開かれる。参加資格は平社会保険出張所管内の被保険者で一事業所男子、女子各一チーム混合ダブルス一チームとする。申込みは二十五日まで平市堂ノ前平社会保険出張所内社会保険協会平支部まで。

常磐の市長選に

自民党で一本化申入れ

自民党ではきのう十七日総会を開き近く解散が予想されている衆議員選挙に木村守江氏、十二月の県知事選には現大竹知事を推すことを決めたほか、現在市長候補の一本化にヤツキになつている常磐市長選には保守政党としての立場から調整に力を入れることを約束、選挙対策に本腰を入れはじめた一方革新系の炭砿労働組合常炭砿でも二十日午前十一時から平市労働会館に各ヤマの幹部をあつめ、第一回選挙対策委員会を開き、常磐市長選に出馬する磯野氏、また県知事の候補者、北茨城市会議員を応援することになつた。

道路予算の

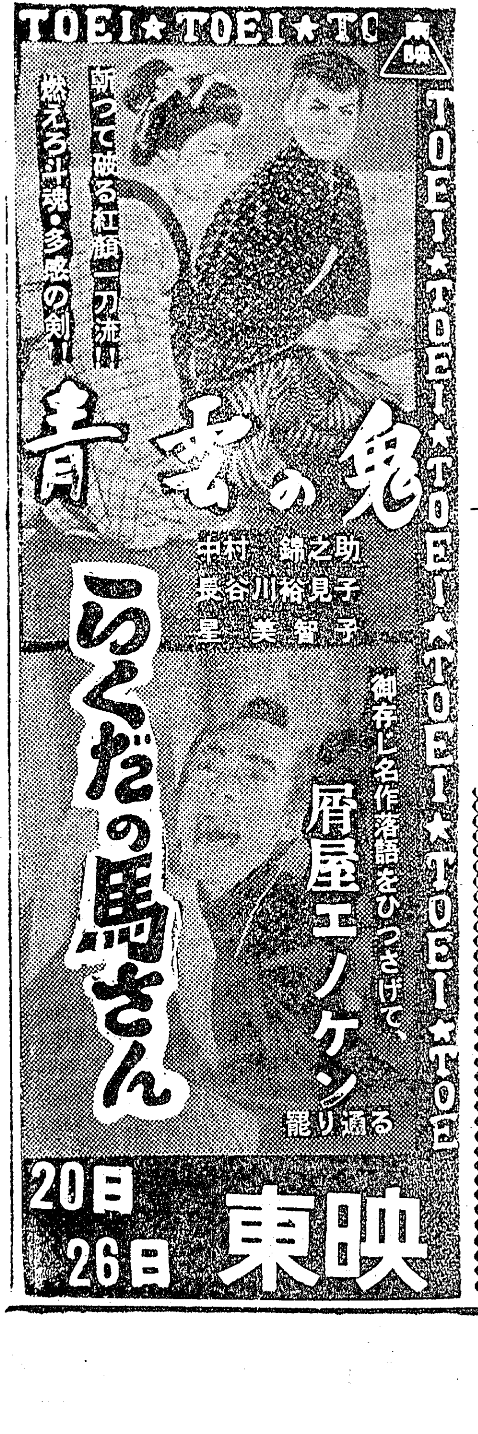
増額有望

県の工事ではじめの計画通り五カ年では完成が難かしいと陳情をした結果、今年度から国の直轄で工事を行うことになつた平ー四倉間六号国道は三十二年度の大蔵省予算査定でケズられたため、その復活要求に十六日諸橋平市長、吉田四倉町長ら関係者が十六日上京建設省、経済企画庁、また東北総合開発関係者らに陳情したが、関係当局では日鉄八茎鉱山また磐城セメントなどを網羅、常磐総合開発の一環として発展が約束されている石城地方の産業道路を開発するため増額予算を内諾した。

東宝
ベストテン入選記念！
愛に背いて罪の道を歩む女たち！
鉄窓に展開する涙の名演技!!
豪華11大スターが
女囚と共に
原節子 香川京子 浪花千栄子
田中絹代 久我美子 谷洋子 岡田マリ子
木暮実千代 杉葉子 淡路恵子
みづみづしい感動と詩情で描く幸田文の文芸巨篇！
流れる
原作 幸田文
監督 成瀬巳喜男
高峰秀子 栗島すみ子
山田五十鈴 杉村春子
岡田マリ子 田中絹代
20日より
此の広告を切り取つて御持参の方は割引致します 大人55円学生40円
民劇

募集
▽男、女店員 若干名
▽喫茶調理見習（男女） 若干名
▽履歴書持参、委細面談
平餅本舗
松月堂
平市銀座街 電206・2206
松月の喫茶
平市三田小路 電1188

平にて萬国の料理を味わえる店
☆インデアンホーク
☆ポークハワイヤン
☆ポークアメリカン
☆ポークソテイ
☆ポークチャップ
……どうぞ……
……なんでも……
……御注文下……
……さいませ……
大衆食堂
満腹
平市三田小路 電二一二〇


TOEI★TOEI★TOEI★TOEI
東映
斬って破る紅顔一刀流!!
燃えろ斗魂・多感の剣!!
青雲の鬼
中村錦之助
長谷川裕見子
星美智子
御存じ名作落語をひっさげて、
屑屋エノケン
罷り通る
らくだの馬さん
20日
26日
東映

笛の詩

えと文　谷田部風太郎

オホーツクの章

1

啓介は、手にしていた手紙を引裂いた。薄い桃ぬりの紙が悲しい音を立ててから、啓介の手をはなれて足もとの砂の上にみだれおちた。

（読まなければよかつた…。）

啓介の知性はめいいるようにそう呟やく。いや、啓介はそれを受取つたときから、読もうか読むまいかとながい時間決断に苦しんだのだつたが…………。

「下村美佐子さんつて御存知……？」

スケツチブツクをぶら下げて宿へ帰つてきた啓介に、いつも玄関まで迎えに出る栄子が、今日に限つて啓介の部屋に坐りこんでいたのである。そして、啓介の姿を見るなりそう云つた。その声は少しうわずつているようであり、白い頰に涙のあとが、かすかに残つていた。

「あなたは御じよう談ばかりおつしやつて、わたしをからかつておいでになつたのね。でも、もう解りましたわ。お赦しになつて、私、本当のあなたを、あなたに無断で覗いてしまいましたの……」

何かをじつとこらえるように言つて、差出した栄子の手に、下村美佐子から来た手紙が、開封されたまま薄い桃ぬりの紙をのぞかせていた。

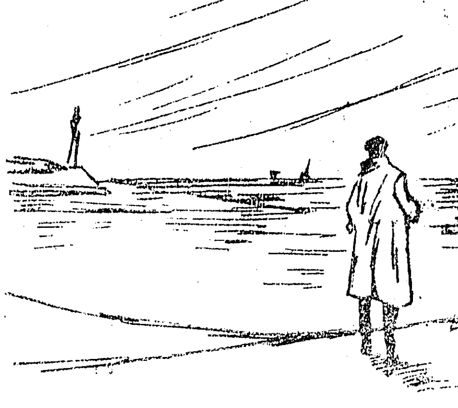
啓介はぐつと息をのんだ。碧い碧い海の中の、真珠と珊瑚樹の龍宮から、いつぺんに放り出されてしまつた様に、それは見苦しい現実だつた。

「何て書いてあつた。」

啓介は一片の弁明もせずに、唯そういつた。

「お読みになれば解りますわ」

啓介は手紙を受取るとそれを手にした侭、暮れかけた浜辺に向つたのである。読んでみようか……いや読むまい。しかし手先きはひとりで動き、眼はひとりでに、美佐子の書いた細いペンの跡を追つて行つたのである。



夕日を背に受けて、黒々と浮かんでいる大小の岩に、オホーツクの海の小波が躍つていた。

啓介の絵は相次いで落選した（お前は全く才能がないんだ……）

しかし啓介は、決してそうは思いたくなかつた。そう思い込むには、余りにも強い感覚につかれているのかもしれない。

「僕の絵はいたずら書きじやあない。人々は僕の絵を敬遠してるんだ。僕は、総てのものの心底を描いてる。飾りたてた外見なんて取るに足らない。僕は、最後まで僕の絵を画くんだ」

変屈かも知れない。弱い人間の強がりかも知れない。けれどそういう啓介を、誠実にはげましつづけてくれたのは、下村美佐子の、いたいたしい愛情に外ならなかつた。そして今も、美佐子はそうに違いない。美佐子は啓介の許嫁でもあり、また妹でもあつた。（つづく）

好間三小で校歌を披露

好間第三小学校（校長三瓶氏）はことしで開校五周年を迎えたのでこれを記念して製作中の校歌と校旗が完成したのできのう十七日午前九時から披露会を兼ねた創立五周年記念学習発表会を開いた。校歌は平市上田令人さんが作詞、前日本ハーモニカ連盟常務理事大場善二氏が作曲したものである。一方校旗は小豆色の生地に校章、校名を金糸でぬいとつた立派なもの。校歌歌詞は次の通り。

一、赤井の峰は清く大らか
花咲き鳥の歌うふるさと
若いあこがれ燃やしつつ
いつもたのしく学ぼうよ
あゝ我等、われらの母校
好間第三小学校

二、楢現堂の丘はみどりよ
わが学舎に希望あらたに
心と身とをみがきつつ
笑顔あかるく励もうよ
あゝ我等、われらの母校
好間第三小学校

三、やさしい平和の光を浴びて
文化の花は胸にかおるよ
正しく剛くのびのびと
みんな元気で歌おうよ
あゝ我等、われらの母校
好間第三小学校

佐藤さん寄附

磐城市鹿島農佐藤重治さんは母キヌさん(八八)の逝去遺志により同中学校へ備品費にと金二千円を寄贈感謝されている。

バイトで學費稼ぐ
長澤、渡邊兩君に善行賞

県立磐城高校（校長橋本憲司氏）の卒業式は石城地方のトツプをきつて三月一日行われるが、同校三年三組長沢民夫(一八)同六組渡辺誠(一八)の両君に晴れの善行賞がおくられることに決まつた。両君とも早く父に死別アルバイトで家計を助けながら勉強にはげんできた感心な生徒である。

〇…渡辺君は、さる二十二年夏、父が死亡し、平市仲間町で和裁仕立業をしている母ふささん(四七)と姉の三人暮し。昨年一月から学校の紹介で家庭教師のバイトを始め学費を働きだすかたわら、毎日放課後、学校の図画教室やこわれたまま放置されていたデツサン用石こう像の修理を手がけ、この三学期までかかつて一基一万円以上もする石こう像三つを完全に直したことがこのほどわかり、善行賞の受賞者に推されたもの。

〇…長沢君も三年前、税務官吏だつた父と死別、平市仲町で雑貨商を営む母トキさん(五八)を助けるため、一昨年十月から四倉町の〝けずり節〟製造元の応援で、その卸売を始め、自分の学費ばかりでなく弟の中学二年生の面倒までみてきたもの。この長沢君の努力に失職中の兄(三二)も奮起、つい最近就職して新人生のスタートをきるという兄弟美談も生まれたもの。

金庫の中から
九万円消え失せる
水素生協の怪事件

磐城市高山、日本水素生協組（理事長佐藤和彦氏、組合員千八百名）でさる五日から六日にかけ同組合事務所に置いてあつた金庫から現金八万九千三百円が紛失、磐城署の調べで外部から賊が入つた形跡がないことがわかり、十五日開かれた同組合の総代会でもこの問題を〝奇怪な事件としてとりあげた〝内部の者の使い込みがあるか、経営に不明朗なものがあるのではないか〟と組合側は理事者の責任〝を追及、このため佐藤理事長ら七理事は辞表を出したが〝事件の真相究明が先決であるそれまで留任すべきだ〟との意見に基いて小委員会を組織し徹底的に調べることになつた。

一方この事件の発生で七日から帳簿監査に当つた同組合の林会計監査員の話によると昨年七月中旬ころ二万円、同十二月上旬ころ三万五千五百円がそれぞれ紛失し、理事長と理事たちが相談のうえ毎日の売上金を減らして穴埋めをし帳簿上のつじつまを合わせていたこともわかつたという。

同組合は二十九年九月組合員一人二千円の出資金で設立され、同市高山、玉露、弁別の三カ所にある売店で日用品を販売するほか、従業員の工場内での給食（三食）も一手に引受け年間一億余万円からの売上げがあり、組合側はこんどの事件には〝汚職問題〟がからんでいるのではないかとみており「生協はあくまで組合員の福利厚生を図るもので理事はいわば使用人であるに過ぎない。ところがそうした立場を忘れているような傾向がみられる。こんどの八万円事件でも理事長が自バラを切つて全額穴埋めした。本当に盗難にあつたのなら個人的に処置する必要はない……」と憤慨している。

家具の
あるが
平銀座店電三三三
平四丁目店

銘菓
九段羊羹
平凡

時間延長には反対する
自労組申入れ

冬期間の作業時間が二月十五日で打切られ平常作業にもどることになつたため、全日自労石城地区協会では失対、特失の作業時間延長反対など六項目を上げて平職安と交渉していたが十八日午前十一時から第二回目の話合を行つたなおこの席上には樋口県商工労働部長も立合い話合を進めた。これは平職安側が▼冬期間の作業時間を二月十五日に打切る▼失対事業適格者証の交付などを打出したため日雇労務者側では神武以来の景気といわれても電気、汽車賃などの値上げがかえつて苦しい生活をしなければならないと六項目の反対要求をしているもの。

一本化決る
石城地方の開拓農協

石城地方の開拓農協では現在二十組合ある農協を一本にしていますで各個人で販売していた農産物を一つにまとめ共同出荷をし現金収入のみちをはかるとともに開拓営農資金などの償還金にあてるため統合して整備強化を行う計画をたてていたが、十六日同組合では理事会を開き、一本化することに決定した。

これは小さい組合を統廃合して生産設備の拡充さらに土壌の改良、また県下一の償還率を見せている。償還金をこの統合でジヤガイモなどの農産物の計画生産、共同販売しようとするもの

磐城便り

▽磐城市内小、中学校長会は二十二日午前十時から小名浜公民館で
▽勿来市内小学校家庭科研究会は二十六日午前十時から上山田小学校で
▽磐城市内小学校図画研究会は二十七日午前十時から
▽勿来市内小学校一年生一六〇〇名の入学受付は三月五日午前十時から各関係学校で開始
▽小名浜漁協では二十日午前十時から源泉税務懇談会を

割烹
湖月
平電一〇七三

若ひな鳥料理
◎今年はトリ年です
◎自家育成若ひな鳥
◎の料理をゼヒ一度
◎御賞味下さいませ
お食事のデパート
ふ二屋
平市中央通り　電六六・一三〇

ビクター
LCB－IB
オーディオラ
ユニツト を新設
☆すばらしい音盤と音響をお楽しみ下さいませ
☆モーニングサービス…好評
コーヒーときつちん
たまはん
平・銀座　TEL 1611

ふつくらとして
やわらかに
すず印わた
平市新川町
電422
スズキ

★★映画は大映★★★
大映
いとはん物語
女なれば美しくありたいものを—ふさりよな、おかめ顔の女をめぐる感動の物語
大映カラー・総天然色映画
鶴田浩二
京マチ子
小野道子
矢島ひろ子
市川和子
南左斗子
川崎敬二
同時上映
八州大利根の対決
20日 世界館

あゝ軍艦旗
※われらの皇太子さま
原作 藤島泰輔
皇太子に青春を！！全国を沸せた問題小説を豪華キャストで描く異色大作！
孤独の人
月丘夢路
津川雅彦
青山恭二
芦川いづみ
20日 26日 平館

肖像画
女子習生入用　◇年令十六・十七才の方　三名
平市五丁目
菊水画房

…うまい…
…安い
出前が早い
酒喜庵
デンワ 一七一